

## 経営比較分析表（平成29年度決算）

愛媛県宇和島市 市立宇和島病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条所全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I未訓ガ	教臨が感へ災輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
77,329	34,197	非該当	10:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
426	-	5
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	4	435
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
423	-	423

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 教…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審制病院

当院病院平均値(平均値)	類似病院平均値(平均値)	平成29年度全国平均
■	■	□

### I 地域において担っている役割

救急救命センターを併設する宇和島地域の急性期基幹病院として二次・三次救急医療を実施しており、圏域の救急医療体制の中核である。加えてがん診療や災害医療をはじめとする政策的医療や結核・感染症医療等の不採算医療を担っているほか、地域で唯一の総合病院として多様な疾病に対応している。また、臨床研修病院として医療福祉に貢献できる人材育成を行っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

29年度決算では職員数の増加に伴う給与費の上昇により医療損失が発生しているものの経常収支では黒字決算を継続している。黒字化の状況は類似団体と比較して非常に良好であるものの会計制度改正による引当金の計上義務化により、退職手当引当金の計上不足額を平成30年度まで分割計上することとしているため収益は増加しているが、平成31年度以降は解消に転じる見込みである。

診療収入について入院患者が類似団体と比較して5,000程度低い。その理由は当院の看護配置基準10対1に対して同規模病院は多くが7対1であるためであると考えられる。ただ、一方で病床利用率は当院が15ポイント程度高い水準にあるため収益ベースでは類似団体より高い水準にある。

近年は診療収入の増加により増収傾向にあるものの、給与費、材料費の増加により減収傾向にある。

#### 2. 老朽化の状況について

昭和62年に改築した看護師宿舎が老朽著しく、改修を予定している。その他の建物は平成21年度に新病院としてオープンしたため減価償却率は低い状態にある。

一方で器械備品では医療器械の耐用年数は概ね6年前後であり、改築後に整備した物品についても耐用年数を経過するものがあり、26年度からの4年間で(法約)15億円程度の医療器械整備を予定している。器械備品減価償却率は類似団体より5ポイント程度高い水準にあるものの医療器械については専門の職員による管理のもと予防保全等の長寿命化策を講じ安全かつ効率的に運用を行っており、5年単位の投資計画をまとめた上で優先順位を基に毎年度見直しつづ整備している。

#### 全体概括

平成29年度決算においては概ね良好な経営状況であるといえる。経年累計による資産増加しているものの収益の増加により大幅な減収には至っていない。今後も在院日数の増加と病床稼働の維持に努め、より一層収益確保についでいく。

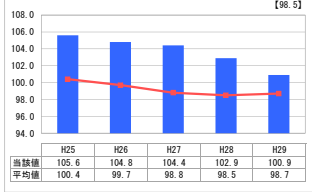
給与費が増加しているのは7月に看護配置の確保に積極的な職員不足による労働時間改善を目的に臨時雇用の看護職員を雇用しているためで引当金の計上不足額を平成30年度まで分割計上することとした債務免除特約付借金の貸与や合資取組解散金への参加、地の買収による増収に付随した土地の売却による増収など様々な増収策を講じており、今後さらなる人口減少対策が迫る中で地域医療を支える医療従事者の確保は喫緊の課題であり継続的に取り組む必要がある。

また、地域の医療ニーズに応えるために計画的・効率的な診療提供を実現する医療体制の構築に努めることを見据えている。

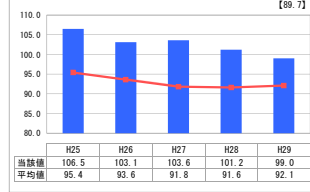
今後、少子高齢化による人口動態の変化が及ぼす医療需要の変化に対応するため、地域医療に基づく医療体制の再構築を急務と見做し、引き続き医療提供に努め、安定的な企業経営を行い、宇和島地域の中核病院としての責務を果たす所である。

### 1. 経営の健全性・効率性

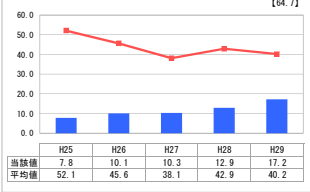
①経常収支比率(%) [98.5]



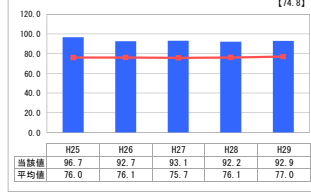
②医療収支比率(%) [89.7]



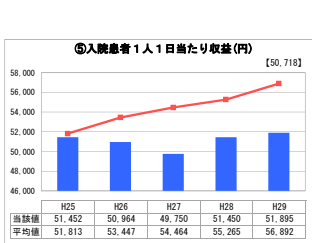
③黒字欠損比率(%) [64.7]



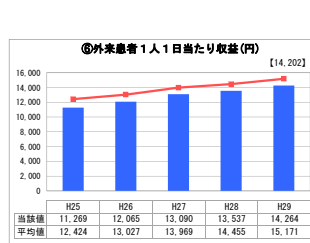
④病床利用率(%) [74.8]



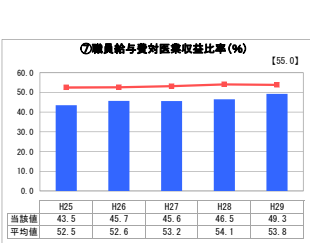
⑤入院患者1人1日当たり収益(円) [50,718]



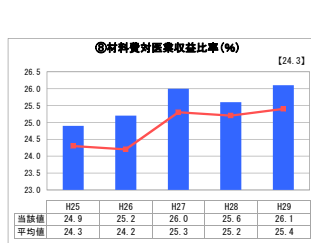
⑥外来患者1人1日当たり収益(円) [14,202]



⑦職員給与費対医療収益比率(%) [55.0]



⑧材料費対医療収益比率(%) [24.3]



「収益の効率性①」

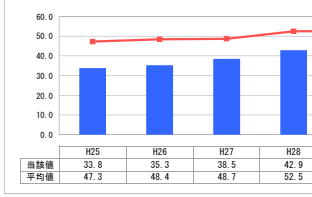
「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

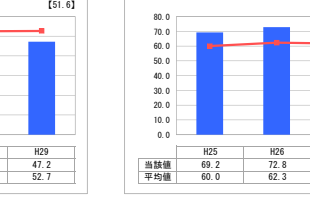
「費用の効率性②」

### 2. 老朽化の状況

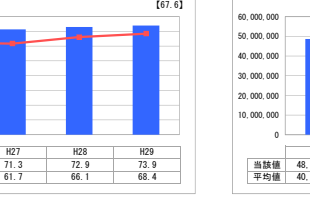
①有形固定資産減価償却率(%) [51.6]



②器械備品減価償却率(%) [67.6]



③1床当たり有形固定資産(円) [45,442,498]



「施設全体の減価償却の状況」

「器械備品の減価償却の状況」

「施設投資の状況」

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。